

SKY コーナー

2019年度 中国ブロック安全大会

「自分の命は自分が守る、仲間の命も自分が守る」
ゼロ災ヨシ!



情報通信エンジニアリング協会 中国支部

1. はじめに

中国ブロックの安全大会が、5県域（広島・島根・岡山・鳥取・山口）において10月から12月にかけて、NTT西日本グループ様と情報通信エンジニアリング協会中国支部の協賛により開催されました（表1）。

疑似の危険体感・体験等により、1人ひとりの危険に対する感受性を高め、事故の再発防止、未然防止につなげるとともに、安全衛生講演の聴講や最新の安全作業ツールに触れ、過去の事故事例による振り返りを通して、さらなる安全意識の高揚と健康管理の重要性の再認識を図ることを目的としています。

開会式では、NTT西日本の各支店長様、情報通信エンジニアリング協会中国支部や関係者様のご挨拶に続いて、安全スローガンの表彰や唱和が行われ、その後、会場内では事故再現、安全運転体感、VR危険体感が実施され、健康増進、安全器具、技術展示コーナー等も設置されました。

その中で、今回は、12月5日（木）に開催されたNTT西日本岡山グループの「安全推進フォーラム2019」（表2）の様について紹介します。

2. 開会式

開会式では、NTT西日本岡山支

店西谷支店長様より、「今年1年を振り返り、まずは、日本列島が自然災害に見舞われた1年であったこと、亡くなられた皆様のご冥福を祈り、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。」

また、その被災地におけるの復旧支援、G20大阪サミットの岡山開

表1 安全大会開催日程

10月16日（水）	鳥取	2019鳥取安全推進大会 湖南中学校
10月18日（金）	島根	2019安全大会in島根 雲南市加茂文化ホール ラメール
10月29日（火）	広島	2019安全大会in広島 広島市中小企業会館
11月7日（木）	山口	2019年度 NTT山口グループ安全衛生大会 NPYビル、NTT山口支店ビル
12月5日（木）	岡山	安全推進フォーラム2019 岡山ドーム

表2 安全推進フォーラム2019プログラム

開催内容（岡山ドーム内会場）		作業安全	健康増進	表彰	展示
8:00	受付開始（ITEA中国支部の方）				
8:30	作業安全 8:20～8:40 脚立使用時における事故再現 20分	作業安全 8:40～9:40 VR技術活用による危険体感 60分			
9:00	作業安全 8:45～9:05 正しい高所作業の実演 20分				
9:30	作業安全 9:10～9:40 フルハーネス安全帯装着と梯子昇降体験 30分				
10:00	開会式 9:45 ①主催者挨拶 NTT岡山支店 西谷支店長 9:50 ②安全宣言 ITEA中国支部 平原支部長 9:55 ③安全スローガン 10:00 ④安全スローガン表彰 10:10 ⑤安全スローガン唱和				
10:30	特別朗読 （交通安全） 10:25～10:50 25分				
11:00	特別講演 （交通安全講演） 11:00～11:45 「安全」と「真の効率化」について考える ～あり運転が無くなるその理由～ 45分	作業安全・交通安全 11:15～14:20 ・VR技術活用による危険体感 ・新現場KYシステムの紹介・体験 ・災害用伝言ダイヤル171紹介・体験 ・多機能マルチヘリ展示 ・自転車シミュレータ体験 メガネによる飲酒歩行体験 （岡山中央警察署）	健康増進 11:15～14:20 ・アクティブ体操（JFE） ・血管年齢測定（せいら病院） ・乳がん検診による早期発見（せいら病院） ・肺年齢測定（NTT中国健康管理中心） ・アルコールパッチテスト（NTT中国健康管理中心） ・指分濃度体感体験（NTT中国健康管理中心）等	表彰 作業事故事例 進捗力向上への習慣	展示 N I T Tグループ各社 メーカ各社
12:00	実演 （交通安全再現） 11:55～12:25 （スタンドマン） 30分				
12:30	（休憩）				
13:00	作業安全 13:00～13:20 脚立使用時における事故再現 20分				
13:30	作業安全 13:25～13:45 正しい高所作業の実演 20分				
14:00	作業安全 13:50～14:20 フルハーネス安全帯装着と梯子昇降体験 30分				
14:30	閉会式 14:25～14:30 主催者挨拶 NTT岡山支店 梶原設備部長				

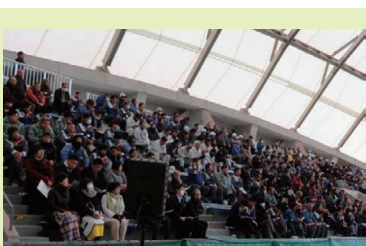


写真1 岡山ドーム内会場模様



写真2 西谷支店長様ご挨拶



写真3 平原支部長挨拶



写真4 安全宣言

権における安定したサービス提供に対する関係者への御礼を述べられた後、安全についての話題に触れられ、「今年に入り、岡山エリアにおいても、梯子から転落するという重大な人身事故が発生しました。その原因の1つは基本の徹底、ルールの徹底がなされていないなかったこと、もう1つは、梯子作業という基本といったことが日常の訓練の中であまりなされていないなかったというところにあり、基本に振り返って今、岡山エリアでも取組みをさせていただいているが、残念な事に他エリアでも同様の事故が発生しました。

まだまだ事故が収まらないといった状況であり、ぜひともこの安全推進フォーラムの中でも、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

最後に、過去の類似事故は絶対に起こさないということを皆様方1人ひとりが肝に銘じていただき、「自分の命は自分が守る、他人の命も自分達が守る」という強い意志を持って、これから取り組んでいただければと思います。

またチーム岡山が一丸となって事故ゼロをこれからも継続することを祈念するとともに今日一日有意義な時間となるよう、よろしく申し上げます。」とのご挨拶がありました(写真2)。

引き続き、情報通信エンジニアリング協会 中国支部 平原支部長より、「全国的にも転落という基本的

な事故、昔から起きているような事故が減っていない状況にあります。中国エリアにおいては皆様1人ひとり、そして各社、協力会社の皆様も含めて安全に対するご指導により、いろいろな施策の展開によって全体的には事故が少なくなっている傾向にあると思います。

また、弊社ソルコムでも、ヒヤリハットが多く発生しており、たまたま重大事故になっていないだけであり、事故が自分達の所で起きていないからすべてがうまくいっているのだと過信してはいけないと常々思っています。

マンネリ化を防ぐためにも、ぜひともいろいろな方法で、手を変え品を変えながら、施策を展開するということを特に各社の幹部の方々に考えていただきたいと思います。

続いて、保守のDP化についてですが、人材不足の中、これからは、複合的に仕事をやっていかなければならない、また、皆様方に安全技術の幅という事についても広げていなくてはいけない時代になってきたと思います。

最後に、我々の仲間から、この岡山の地域から不幸な仲間を出さないということを、今日一日の取組みの中で誓い合いたいと思います。」とご挨拶がありました(写真3)。

その後、代表者による安全宣言(写真4・図1)、安全衛生スローガン表彰(写真5)に続き、NTTマーケティングアクト中国支店サービス推進部中国SOCセンタ(岡山)福本洋子様最優秀賞作品「あなたの危険はみんなの危険 リスクを共有 “ゼロ” 災害」の大会スローガンに

安全宣言

NTT西日本グループでは、「安全と健康は全てに優先するを原則とし、法令の遵守は勿論のこと、「自分の命は自分が守る 仲間の命も自分が守る」を合言葉に、指差し呼称の徹底と現場KYの質的向上、そしてその確実な実践で安全を確保してきました。

しかし、今年の4月に、フィールドテクノ社員が故障修理業務に於いて、梯子からの転落事故が発生してしまいました。この事故では、現場KY及び事務所との2WAY確認、基本動作の徹底が改めて重要だと再認識させられ、絶対に事故を起こさないという強い気持ちと、取組みの強化が必要だと痛感しています。

私たちは、本日の「安全推進フォーラム2019」に自らが参加し、「触って、視て、より体感、より体験」することにより、一人ひとりが危険に対する感度を高め、安全を再認識する契機とし、事故の再発防止・未然防止に努めてまいります。過去発生した事故を「他山の石」として、類似事故は絶対に起こさないことを決意し、ここに宣言いたします。

二〇一九年二月五日

西日本電信電話株式会社 岡山支店 小林 英明
株式会社NTTフィールドテクノ 中国支店 岡山営業所 難波 泰広
株式会社ソルコム 岡山支店 山根 英和

図1 安全宣言文

西日本電信電話株式会社 岡山支店 小林 英明 様
株式会社NTTフィールドテクノ 中国支店 岡山営業所 難波 泰広 様
株式会社ソルコム 岡山支店 山根 英和 様



写真5 スローガン表彰の皆さん

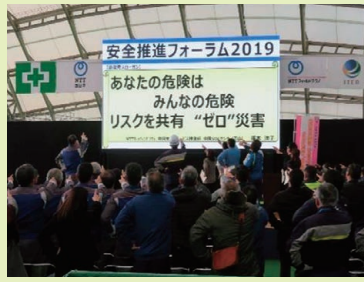


写真6 参加者全員による「安全唱和」



写真7 特別朗読

ついで、NTTフィールドテクノ中国支店 岡山営業所課長代理 佐々木 茂様のリードによる安全唱和が行われました（写真6）。

さらに、岡山放送（OHK）の人気アナウンサー 矢野 みなみ様による交通事故加害者の手記の特別朗読が行われ（写真7）、参加者一同とても身につまされるものを感じ、交通事故は絶対に起こさないことをあらためて誓いました。

特別朗読要旨 （2話朗読）

◆1話目

- ・加害者 会社員（41歳）
- ・5人の子供の母親の命を奪ってしまった。
- ・ある年の5月の夕方6時頃、弟の新築祝いとしてプレゼントした冷蔵庫が届いたと連絡を受け、家から10キロほどの弟の家に行った。談笑後の20時50分、車で帰宅。慣れた道だったが、夜で周りは暗く、動物の死骸にびっくりし避けようとして左に急ハンドルを切り左の縁石に衝突、その反動で右ポケットから携帯が落ち、咄嗟に拾おうと下を見たため、対向車線にはみ出し正面衝突した。
- ・被害者 二人の子供（一人軽傷、もう一人は顔に残る大ケガ）母親は病院搬送2時間後死亡
- ・事故から数カ月後、自動車運転過失致死傷害、禁固2年を言い渡される。今、刑務所で今後どのように罪を償っていけばよいか考えなければならぬ。
- ・心の矯正を通じて自分と向き合い、事故から目をそらさず、どのよ

うに謝罪すべきか考え、自分の犯した罪の重さを受け止める事が大事だと学んだ。

・私の起こした事故により大切な母親の命を奪われてしまった御遺族の心の辛さ・苦しさ・悲しさを感じ、少しでも心の回復をしていただけるよう行動・謝罪をするよう、刑務所生活を送り、謝罪の言葉を与え続けます。

・事故は一瞬の心の油断から起こる事を忘れないで下さい。自動ブレーキ等の技術は進歩しているが自動車の進歩だけでは駄目。運転するすべての人にとって人の命を奪う可能性はゼロではない事を忘れないで下さい。

◆2話目（居眠り運転という一瞬の過ち）

- ・加害者 会社員（29歳）
- ・あの夏の夜を私は一生忘れない。自分に対する過信から人の命を奪った。その瞬間まで自分と何の縁もなかった家族に大きなキズを負わせ、自分の大切な家族にも大きな負担をかけている。
- ・仕事後、先輩からの誘いで食事をした。アルコールは飲まなかったが、話が盛り上がり解散は23時になった。先輩と別れた後、車で家に向かった。生あくびは出るが極端に体調が悪いわけではないという油断からガムを噛む程度で運転していた。23時30分頃自動車専用道から一般道に合流する付近で眠りに落ち対向車線にはみ出し、正面衝突した。
- ・被害者 運転席1名（男性1名6時間後死亡）後部座席 1名（男性の妻）大ケガ
- ・禁固2年6カ月の実刑判決。賠償金は民事裁判中。

・私はこれにより十分すぎる程、人を不幸にした。これからの生涯で、私は人を少しでも幸福にするための選択をします。一人でも多く誰かの役に立ちます。そうやって私は生きて行きます。

3. 講演

モト ドクターK代表 内匠（たくみ） 雄彦様による交通安全講演「安全」と「真の効率化」について考える ～あおり運転が無くならない理由～をテーマに、あおり運転をする原因やその対策方法についてご講演をいただきました（写真8）。

●「あおり運転」の根源（エネルギー）とは？



●ストレスを高める要因 「間違った効率化」

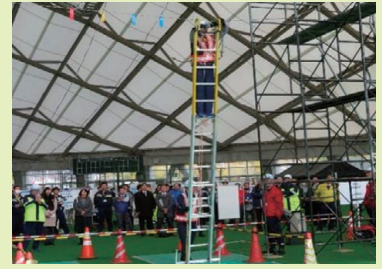
- ・効率と能率の違い
- 1) 効率とは：使った労力に対して得られた成果の割合
- 2) 能率とは：一定時間内にできる仕事の割合

●あおり運転を防止するために

- ・不便さを受け入れる（寛容性）
- ・「先急ぎの心理」のコントロール
- ・「真の効率化」を考える
- ・「かもしれない運転」の実行



写真8 講演

写真9 脚立使用時における事故再現
(ITEA中国支部)写真10 正しい高所作業の実演
(NTTフィールドテクノ中国支店)写真11 フルハーネス型安全帯装着
と梯子昇降体験
(NTTフィールドテクノ中国支店)写真12 スタントマンによる
交通事故再現写真13 アクティブ体操
(JFEスチール様)

- あおり運転に遭遇しないために
- ・渋滞する「時間」「場所」を避ける
- ・危険な運転をする車両から離れる
- ・進路変更はできるだけしない
- ・必要以上に譲らない

4. 実演・体感

ITEA中国支部による脚立使用時における事故再現では、①無理な体勢での作業、②踏みさんを背にしての作業、③開き止めを忘れて、損傷したまま使用した場合の3つの実演を行いました。特に、開き止めを忘れて、損傷したままの実演は、急に脚立が開き転倒するというものであり、とても迫力があり、見学されている方々から「オーッ！」という声が上がっていました。また、何人かの方々に、実際にフルハーネスを装着して、脚立に昇ってもらい、転倒体感をしていただきました(写真9)。

NTTフィールドテクノ中国支店

による、2019年4月に岡山で発生した梯子からの転落事故を教訓とした正しい高所作業の実演(写真10)やフルハーネス型安全帯装着と梯子昇降体験(写真11)等のコーナーもあり、多くの方々が見学しました。

スタントマンによる交通事故再現では、自転車同士や路地から出てきたベビーカーとの衝突シーン等とても迫力のあるスタントがあり、実際の衝突による衝撃がどのくらい大きいかがよくわかり、自転車事故の危険性をあらためて知る良い機会となりました(写真12)。

また、JFEスチール様による体力向上、腰痛対策のためのアクティブ体操のコーナー等もあり、多くの方々が体感されていました(写真13)。

5. 閉会式

閉会にあたり、NTT西日本 岡山支店 梶原設備部長様から「冒頭か

ら何度となく紹介されているとおり、この4月にこの当地、しかも我々の仲間が重大な人身事故を起こしたということで、我々フィールドテクノ、特にフィールドサービスセンターの皆様が中心となって反省を繰り返し、懺悔を繰り返してきました。したがって、今回のこのフォーラムは、その心意気を見せるという意味も込め、心を込めてスタッフ一同準備したつもりです。

それから、フォーラムをここまで立ち上げるにあたって、いろいろご尽力をいただきましたスタッフの皆さん、お疲れ様でした。スタッフの皆さんに拍手で報いてあげたいと思います。ありがとうございました。

最後に、昨年からお願ひしていますが、「自分の命は自分が守る、仲間の命も自分が守る」を全員で唱和したいと思います。岡山設備グループとしては、とても大事にしている言葉であります。ぜひ皆様で唱和して、本フォーラムを締めたいと思ひ



写真14 梶原設備部長様ご挨拶

ます。」との閉会のご挨拶がありました（写真14）。

そして、参加者全員で、「自分の命は自分で守る 仲間の命も自分が守る ゼロ災で行こう！ ヨシ！」を唱和し、本フォーラムを締めくくりました（写真15）。

6. おわりに

今年も5県域でのNTTグループ安全大会に参画し、人命の尊さ大切



写真15 唱和による締めくくり

さをあらためて実感しました。

今後もNTTグループ一丸となって事故ゼロに向け取組みを進めてまいります。ご安全に！